

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	良好な景観の形成（屋外広告物関連事業）			事業番号	017-007
担当部署名	建築都市	局	都市計画	部	都市景観 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(1) 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出
		有	取組の方向性	①百舌鳥古墳群の保全・継承とゲートウェイ機能の強化			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール①住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.4	
		有	取組	百舌鳥古墳群の保全			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	堺市歴史的風致維持向上計画、堺市景観計画					
3	事業開始年度	平成 8 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	屋外広告物法、堺市屋外広告物条例、堺市屋外広告物適正化促進事業補助金交付要綱、堺市路上違反簡易広告物除却活動員制度要綱					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	屋外広告物の広告主、施設管理者、屋外広告業を営む者
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	良好な景観を形成し、風致を維持し、公衆に対する危害を防止すること
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> 安全でかつ景観に配慮した秩序ある屋外広告物の掲出を促進し、良好な景観を実現するため、屋外広告物法及び堺市屋外広告物条例等に基づき許可制度を実施する。 令和2年度においても、百舌鳥古墳群周辺地域における既存不適格広告物（適法に掲出している屋外広告物のうち、新たな基準に適合しなくなる広告物）について、早期の適正化に向けて、撤去又は改修に係る費用の一部を補助した。（事業期間：平成28年度～令和3年度）
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	百舌鳥古墳群周辺地域内の既存不適格広告物の撤去又は改修を行った者
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 屋外広告物許可件数	件	目標値	-	-	900		
		実績値	821	846			
		達成率	-	-			
		当該指標を選定した理由	屋外広告物の許可を受け、景観に配慮した広告物が増えることにより、良好な景観形成に寄与するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		制度の周知等により申請が増加すると想定し、目標に設定。					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
12 百舌鳥古墳群周辺地域内の屋外広告物の適正化件数 (累計)	件	目標値	62	79	85		
		実績値	69	80			
		達成率	111%	101%			
		当該指標を選定した理由	百舌鳥古墳群周辺地域における既存不適格広告物の適正化が進むことにより、良好な景観形成に寄与するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		適正化件数の累計として、点検年度に100件適正化することを目標に設定。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	良好な景観の形成（屋外広告物関連事業）	事業番号	017-007
-------	---------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

事業費	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13	事業費 (a)	8,501	10,016	6,210	7,972	6,426
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（世界遺産保全活用推進基金）	6,100	8,015	4,700		5,000
	受益者負担金(使用料、手数料等)	2,401	2,001	1,510	7,972	1,426
	一般財源					
14	人件費 (b)	26,610	23,870	25,460	24,835	30,165
15	年間経費(c)=(a)+(b)	35,111	33,886	31,670	32,807	36,591

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	屋外広告物適正化促進事業補助金	R2	決算	7,239	0	通信運搬費	R2	決算	146	0
		R3	予算	5,000	0		R3	予算	303	0
	屋外広告物許可区域図修正業務等	R2	決算	199	0	謝礼金	R2	決算	0	0
		R3	予算	100	0		R3	予算	100	0
	印刷製本費	R2	決算	250	0	会場等借上料	R2	決算	0	0
		R3	予算	297	0		R3	予算	437	0
	消耗品費	R2	決算	41	0	その他使用料および賃借料	R2	決算	0	0
		R3	予算	58	0		R3	予算	5	0
	その他保険料	R2	決算	97	0		R2	決算		
		R3	予算	126	0		R3	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		① 屋外広告物許可件数	件
② 上記①にかかる年間経費	千円	11,830	12,593
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	14,409	14,885
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の適正化について、事業者に対する直接連絡等による周知・啓発や、補助金の交付により適正化が促進されることで、目標より多くの広告物の撤去・改修が行われ、良好な景観形成に寄与している。
また、許可制度の運用について、人件費が多くを占めることから単位経費の低減は難しいものの、チラシの配布や更新案内の送付などにより周知が進むことで屋外広告物の許可件数は増えてきており、安全で景観に配慮した秩序ある屋外広告物の掲出を促進することにより、良好な景観形成を図ることができた。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 百舌鳥古墳群周辺地域の屋外広告物の適正化に向けた啓発等を実施することにより、事業者への百舌鳥古墳群周辺の景観保全に向けた周知が進んだ。
また、屋外広告物の撤去・改修には補助金を活用しても自己負担が生じるが、新型コロナウイルスの感染拡大により事業者の経営状況等に影響が生じている中で、前年度よりも適正化件数は少ないものの、事業者の理解が得られたことにより目標を達成することができ、既存不適格広告物の適正化が進むことにより、百舌鳥古墳群周辺地域における良好な景観形成に寄与した。